



# 探検! 「飛鳥」



**ななみちゃん**

お父さんの会社に  
興味津津な小学生



**お父さん**

NYKに勤めている。  
ななみちゃんがNYKに  
興味を持ってくれてうれしい

- ねえねえお父さん、どこか遊びに行こうよ~!
- 実は会社の人をお願いして、特別な場所に入れてもらえることになったから、一緒に行こうか
- えっどこどこ? 会社の中はこの前見学したよ?  
(👉 2013年1月号参照)
- 今回はなんと……あの客船「飛鳥II」だっ!
- やったー!!!! (海外に行けるのかな、ワクワク)



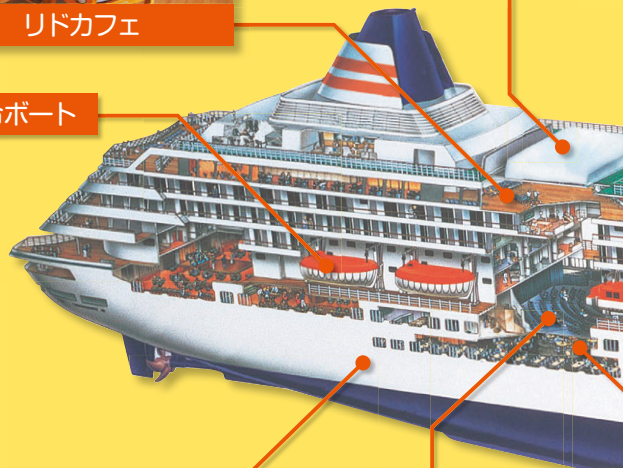
リドカフェ



大きなお風呂もある!

グランドスパ

救命ボート



診療室



映画館

## 「飛鳥II」とは?

郵船クルーズ(株)が運航する日本最大の客船。  
「洋上のオアシス」と呼ばれ、温かいおもてなし  
でお客様に極上の休日を提供します

全長	: 241m	客室数	: 436室
幅	: 29.6m	総乗客数	: 872人
総トン数	: 50,142トン	乗組員数	: 約470人



# Ⅱ」の舞台裏

やって来ました、夏休み。キッズ特集第4弾では、ななみちゃんとお父さんが「飛鳥Ⅱ」の裏側を探検します。ぜひ自宅に持ち帰って家族の皆さんとご覧ください！

船がいる場所の海水を使用



プール

わー大きいね。早く乗ろうよ！



まあ、そうあせらずに。ななみ、この船では400人以上の人(クルー)が働いているって知ってた？

ここからの眺めは最高！



ビスタラウンジ



テニスコート

ダイニングルーム (レストラン)



ギャラクシーラウンジ



ショーが見られる

他にもいろいろ！



ざっし雑誌「CRUISE」の読者投票企画「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」では、先代の「飛鳥」から数えると22年連続ナンバーワン！

レセプション



はい (やっぱり旅行じゃないのね……^^)

今日は普段なかなか見られない「飛鳥Ⅱ」の裏側を探検して、皆さんのお仕事をを見せてもらおう



# いんさつ 船の中の印刷工場

さあ、いよいよ裏側に来たね。  
まずはここ、“PRINT ROOM”。  
印刷室だな



こんにちは！



船内新聞エディター  
かがみはるの  
加賀美 春乃さん



いろいろな色の  
紙があってキレイ。  
お姉さんのお仕事は  
何ですか？



ここでは、船内新聞“ASUKA DAILY”を作っています。新聞は毎日発行していて、お食事の時間や船内で行われるイベントのスケジュール、施設案内、次に着く港・国の情報などを載せています。

新聞以外にもさまざまな印刷物があるので、用途に合わせて使い分けられるよう、いろいろな種類の紙があるんですよ。必ず読んでいただきたいお知らせは、目に留まりやすい鮮やかな色を選んでいきます



情報盛りだくさんの新聞ですね。これを読んで一日の過ごし方を決める人もたくさんいらっしゃるでしょう！ しかし、ここにいると何だかオフィスにいる気分になりますが、陸上での仕事と違いはありますか？



印刷機にトラブルが発生すると大変ですね。海の上には修理の専門家を呼べないので、電話でメーカーに問い合わせたりして、何とか自分で対応しなくてはなりません。今では印刷機がいつご機嫌ななめになるか、だいぶ分かってきました。それとこの部屋、実は海面より下にあるんです。海水温度の影響を大きく受けるので、船が赤道に近づくにつれてどんどん部屋が暑くなって……(笑)



わたし  
私たち今、海の中なの!? 不思議な気分！  
お仕事でうれしいことはありますか？



やはりここで印刷したものを読んでくださっている姿を見かけると、やりがいを感じますね。これからもお客さまの役に立ち、さらに楽しい船上生活を送っていただける情報を発信していきたいです



# お客さまに笑顔を



次は華麗なショーの舞台裏に潜入だ。Hello!

ハ、ハロー!

日本語もスコシ話せますよ!

私はダンサーでもあるけど、振り付けも担当してます

ウェルカムトゥー  
Welcome to "ASUKA II"!!  
(「飛鳥II」へようこそ!!)

クルーズディレクター  
ボブ 田中さん

プロダクションマネージャー  
ローレン・ベアさん

今日は特別に衣装部屋をご案内します。ここでダンサーたちはお化粧や着替えをします。ちゃんと数えたことはないけど、衣装は千着はあるかしら



中にはライオンキングの帽子も。ほら!

すごおい~!

- 2人はずっとここでお仕事してるんですか?  
休暇は挟むけど、本船での勤務歴は長くて、ローレンは7年、私は20年以上です
- 本船には、ダンサーが8人(女性5人・男性3人)、歌を担当するシンガーが2人乗っています
- どんなショーが見られるんですか?  
ミュージカルやマジック、世界各地の踊りなど、次のクルーズでは7種類準備しています。ローレンは、ショーがない時間にストレッチやタップダンス、エアロビクスの教室を開くこともあるんですよ
- 乗船中は毎日舞台の練習と本番があり、休暇で下船したらラスベガスの所属会社に戻って、次に本船で行うショーの内容・構成を考えます。お客さまの笑顔のために、陸でも船でもショーのことを考えてるわね(笑)
- 毎年クオリティー(質)が上がってると思いますよ。お客さまも手拍子したり、歌ってくれたり。「これこそ『飛鳥』だ」って喜んでくださる姿を見るのが、最高の瞬間です

# 心強い「元気」の味方

ここは分かるよ、  
病院でしょ



診療室だね。船員法という法律<sup>ほうりつ</sup>で、お医者さんが必ず乗っていないといけない船が決まっているんだよ。もともとはクルーの健康を守るためだけど、この施設はお客さまにも使っていたいでいるんだって



そのとおり。  
さすがよくぞ存<sup>ぞん</sup>じですな



船医  
せき けんいち  
関 賢一さん

ここではお客さまとクルー合わせて、最近だと……  
1カ月で480人ほど診察してますね

えーそんなに!?  
やっぱりみんな船に酔<sup>よ</sup>っちゃうの?

実は船酔いは少なく、熱っぽい、歯の詰め物が取れた、デッキで転んでしまった、しっしんができたなど、症状は本当にさまざま。「カメラのフラッシュを浴びすぎて、目に違和感<sup>い わかん</sup>が」なんてクルーもいたっけ。診療科が分かれてないから、全て1人(世界一周クルーズの場合は2人)で診<sup>み</sup>なくては行けないので、広い知識と経験が必要とされます

こちらにはどのような設備があるんですか

簡単な医療機器・器具はそろってます。心電図やレントゲンもとれます。薬は内服薬だけで100種類以上置いてますね。しかし病状によってはここで対処できないケースも……。命に関わることなので、速やかな帰国を勧告<sup>かんこく</sup>しなくてはならなかったり、緊急事態<sup>きんきゅうじたい</sup>のときはヘリコプターで近くの病院に搬送<sup>はんそう</sup>する場合があります。困ったときは陸上<sup>れん</sup>と連携<sup>れんけい</sup>して最善策<sup>さいぜんさく</sup>を考えています

先生は毎日ここにいるんですか?

診療室は午前と午後、数時間ずつ開けているけど、クルーは仕事があって診療時間外しか来られないこともあるから柔軟<sup>じゅうなん</sup>に対応しているよ。ここでの診察以外に船内の水質検査や、船内約30カ所の救急箱の中身チェックなど、看護師さんと一緒に衛生管理も担当しています。お客さまが旅を十分に満喫<sup>まんきつ</sup>できるよう、クルーは元気に働けるよう、これからも見守っていきたいと思っています



看護師も常駐

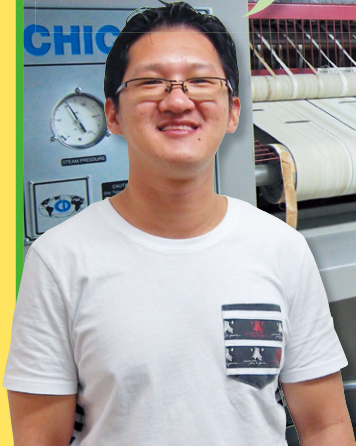


# せんたく 巨大な洗濯機フル回転



わー真っ白な  
布がいっぱいだ。  
お洗濯したのかな？

コンニチハ！



ランドリーマスター  
ユ・キーさん

さらに奥に  
入ってきたね。  
ここはなかなか  
来られないぞ！



そう、ここはランドリールーム。気持ち良いシーツ  
はここで仕上げられるんだよ

ここには大小合わせて洗濯機が5台、乾燥機が4  
台、ベッドシーツやテーブルクロスなどのリネンを  
乾燥させて折りたたむ機械もあります

なぜ客船を職場に選ばれたんですか

働きながら世界を巡ることができるってと  
ても魅力的だなと思ったんです。私はイン  
ドネシア出身ですが、おかげでさまざまな国  
に行くことができました。この船には  
2年ほど前から乗り始めて、アジア  
のいろいろな国を見る機会も増え  
ました。日本で見た桜がとてもきれいで、印象に残っています。  
仕事が終わった後はジムに行って  
体を動かしたり、最近はお客さま  
や他のクルーとコミュニケーション  
が取れるよう、日本語を勉強して  
います



ぐるぐるぐるぐる、目が回る～  
船の中のクリーニング屋さんだね



クルーの制服・シャツ、お客さまの服もお預かりしています。ドラ  
イクリーニングやアイロンがけもお任せあれ！ 日によって違いは  
ありますが、ワイシャツだったら1日300着ほど洗濯しているかな。  
仕事で大切なのは清潔さとチームワーク。忙しい時間もあるけど仲  
間で協力して、お客さまとクルーに毎日気持ち良く過ごしてもらい  
たいです



# 快適な生活と安全を守る場所

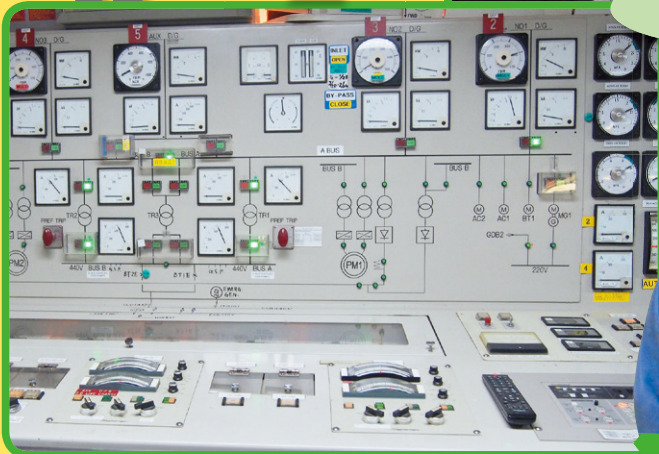
最後は船のエンジンや大きな機械が集まった機関室だよ。前にコンテナ船で少し見たね(📍13年1月号参照)。今回は客船ならではの設備について聞いてみよう

## エンジンコントロールルーム



こんにちは！  
ここテレビや機械がいっぱい。また目が……


ななみちゃん、いらっしやい





わたなべ ゆう  
**渡邊 優**  
一等機関士

たきぐち たつお  
**瀧口 龍雄**  
機関長

たかばたけ ひろ  
**高島 陽路**  
二等機関士

 ぼくたちが所属しているのは「機関部」という部署で、約50人の仲間がいます。半分は機関室の担当で、残りの半分はそれ以外の設備の保守や修理の担当です。  
貨物を運ぶ船と客船が違うのは、お客さまが船上で生活していること。快適に過ごすために必要な電気や水をつくる機器は機関室にあるんだけど、それらが問題なく動くよう管理するのも、ぼくたちの重要な任務の一つです

 監視カメラの数が多いですね。こんなにあるの初めて見ました

 機関室だけで15台以上ありますね。本船の機関室はとにかく広いので、ここエンジンコントロールルーム(機関制御室)で主要な機器の様子を見られるようになっています。他の船の多くは、MO(モーター)といって通常航海時は夜間当直がないのですが、本船は航海士と同じように4時間交代の当直があり、24時間必ず誰かがここでエンジンの状態を監視しています

こんなに広いと迷子になりそう……。それに大きな機械がこぼれちゃったら、船はどうなっちゃうの? 止まっちゃうの?



そうならないよう毎日しっかり点検し、勉強も欠かせません。さまざまな事態に備えて訓練もしているよ。例えばこの分厚い扉。これは水密扉とびら すいみつといって、絶対あつてはならないことだけど、万一機関室の下(船の底)から浸水しんすいがあつても、扉を閉めればその区画から外に水が広がらないんだ。浸水部分を最小限にして船の安全性を保つ仕組みの一つだね。この扉は通常使わないから開いたままなんだけど、緊急時に動かないなんてことがないように、定期的に訓練で動かして整備しています

## 発電機



## 水密扉



お客様の快適な暮らしくらしに加えて安全も守る、重要なお仕事ですね



## 工具置き場

## 造水器



- いやー、勉強になったな。多くの人が「飛鳥II」を支えているんだね!!
- 今度はお客さんとして乗ってみたいな～。世界一周とかさ～
- 世界いっしゅ……しゅ、宿題は終わったのかな、そういえば!
- これからがんばりま～す(汗)

今回の紹介はここまで。後はぜひ実際の船上でクルーの活躍をご覧ください。ななみちゃん、次回はどんな冒険をするのでしょうか。お楽しみに!

過去のキッズ特集は当社ウェブサイトでも公開しています。PCやスマートフォンからアクセスしてください!

URL [http://www.nyk.com/kids/nanami/01\\_nyk](http://www.nyk.com/kids/nanami/01_nyk)

QRコード



ご家庭でのご意見・ご感想をお聞かせください!  
宛先は広報CSRグループまで  
(e-mail: PRTEAM@jp.nykline.com)

